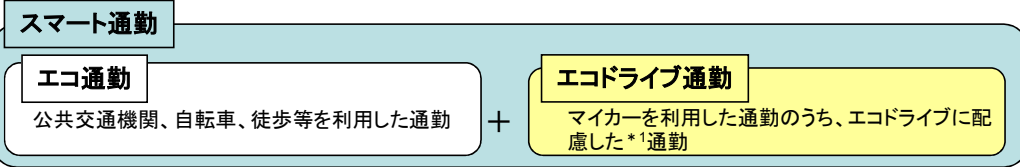


# さいたま市スマート通勤取組方針の概要

## 1. スマート通勤とは

マイカーを利用しない「エコ通勤」と、マイカーを利用するが、環境に配慮した運転方法を実施する「エコドライブ通勤」のこと。さいたま市スマート通勤取組方針独自の概念



\*1 「エコドライブに配慮した」とは、「エコドライブ10のすすめ」のうち、5項目以上を実施した場合

## 2. 方針の趣旨 ～「エコ通勤」と「エコドライブ通勤」で全ての職員が何らかの形で活動に参加～

通勤時における乗用車の使用は習慣的なものであり、公共交通機関や自転車への転換や、運転時のエコドライブは自動車からの二酸化炭素排出削減に大きな効果があります。

(1) 職員は原則エコ通勤を実践し、自動車から排出される二酸化炭素の削減を図る。

(2) やむなくマイカー通勤をする場合も、環境に配慮した運転方法「エコドライブ」を実践することで、全ての職員が何らかの形で環境に配慮した通勤を実践することを目指す



## 3. 計画の目標 平成27年度末までの早期に、以下の目標を達成する

スマート通勤実施率

目標年度までに、職員によるスマート通勤実施率を100%とする

年間二酸化炭素排出量

マイカー通勤からの年間二酸化炭素排出量を平成22年度を基準として25% \*2削減する

\*2 マイカー通勤者全員が少なくとも2ヶ月に1回以上はエコ通勤を実践し、またそれ以外の日は必ずエコドライブ通勤を実施している状況

## 4. 取り組みの効果

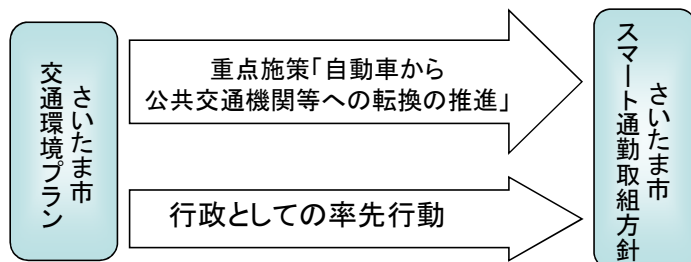
地球環境への効果: 二酸化炭素約900t削減\*3

地域環境への効果: 通勤時の渋滞削減

健康への効果: 消費カロリー増加による健康増進

\*3 マイカー通勤からの年間二酸化炭素排出量が平成22年度比で25%削減した場合の値

## 5. 取組方針の位置づけ



## 6. 具体的な職員の取組内容

### (1) 通勤は原則「エコ通勤」

- ・電車・バス・徒歩・自転車による通勤を実践しましょう
- ・自宅から最寄り駅が遠い場合などは、駅までクルマで行き、周辺の駐車場で車を止めた後公共交通機関を利用する「パーク&ライド」を実践してみましょう
- ・毎日のエコ通勤が難しい場合でも、天気の良い日や荷物の少ない日は自転車通勤をしてみる、通勤時間に余裕があるときは公共交通機関を利用してみるなど、無理のない範囲でエコ通勤を実践してみましょう。

### (2) やむをえずマイカー通勤をする場合は「エコドライブ」で

- ・以下の10項目のうち、5項目以上を心掛けましょう

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. ふんわりアクセル『eスタート』 | 6. 自分の燃費を把握しよう      |
| 2. 加減速の少ない運転       | 7. 道路交通情報の活用        |
| 3. 早目のアクセルオフ       | 8. タイヤの空気圧をこまめにチェック |
| 4. エアコンの使用を控えめに    | 9. 不要な荷物は積まずに走行     |
| 5. アイドリングストップ      | 10. 駐車場所に注意         |

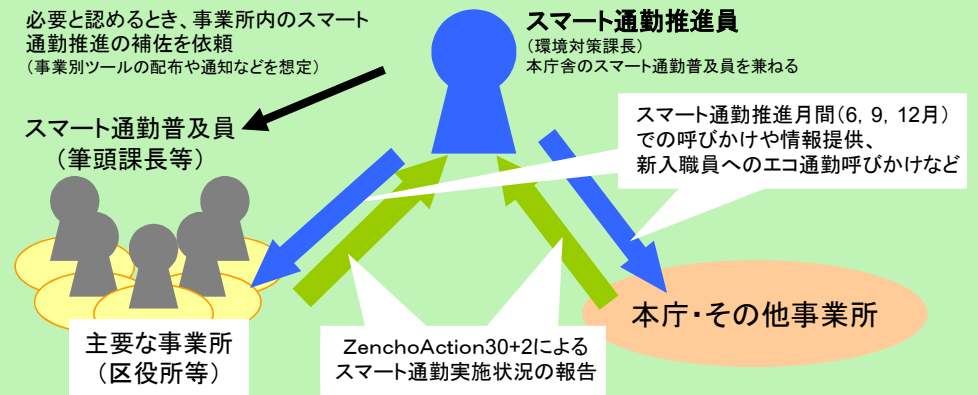
\* 赤字は「さいたま市交通環境プラン」で定められた重点項目

### (3) スマート通勤の取り組み状況を「ZenchoAction30+2」で報告

「ZenchoAction30+2」にエコ通勤及びエコドライブ通勤実施の有無について項目がありますので、毎月の回答にご協力ください。

## 7. 取組の推進体制

- (1) 全庁の取り組みを統括する「スマート通勤推進員」の設置
- (2) 「主要な事業所\*4」に「スマート通勤普及員」の設置
- (3) 「スマート通勤推進月間」を設ける
- (4) ZenchoAction30+2による、スマート通勤実施状況の報告



\*4 さいたま市スマート通勤取組方針実施要領

### 【お問い合わせ先】

環境局環境共生部環境対策課 829-1330(内)3136 担当:永堀・羽田